

平成26年
5月

第116号

三鷹市市民協働センター

ニュースレター

三鷹市市民協働センターは市民活動を応援し、民学産公の協働によるまちづくりを推進する施設です。

5/3(土)~6(火・祝)は開館します。
5/7(水)が休館となります。

NPO・市民活動のための

協働推進事業(市民の底力事業)

事務効率がグッと上がる

ファイリング講座

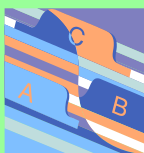


2014年

5/29 木

PM 7:00~9:00

開催します



事務所の中の書類がごちゃごちゃで、探すのに苦労していませんか？
必要なときに即時検索できるファイリングシステムの導入で、
書類を探す時間が無くなります。

◆講師：戸田里江さん
整理収納コンサルタント
RAKYUA代表

◆参加費：2,000円

◆定員：30人
(先着順)

◆対象：どなたでも

◆カリキュラム

1. 書類整理のノウハウをご指導
2. 情報を捨てられないのはなぜ？
3. もっとラクな情報管理方法
4. 体験学習(グループワーク)



◆お申し込み方法：事前に電話・ファクス・メールにてお申し込みください。

◆場所・お問合せ・お申し込み先：三鷹市市民協働センター（第2会議室）
（三鷹市下連雀4-17-23）
電話：0422-46-0048、ファクス：0422-46-0148
メール：kyoudou@collabo-mitaka.jp

主催：NPO法人みたか市民協働ネットワーク

推進コーナーの機械が一部新しくなりました！



紙折り機



丁合機



印刷機

《新印刷機についての注意》

両面印刷の製版代は、どのサイズも、製版代2枚分の80円になります。

詳しくはスタッフにお尋ねください。

印刷機1台、紙折り機1台、丁合機が新しくなりました。

おかげさまで、推進コーナーの利用者数は右肩上がり、満員御礼状態の時もあります。新品の機械は眩しく推進コーナーを照らし、ますます皆様の活動の士気を高めてくれることでしょう。

使用方法がわからないときは、遠慮なくスタッフにお尋ねください。

※お願い

印刷機、紙折り機、丁合機をご利用の際は、普通紙のみご使用ください。コーティングされている用紙、感熱紙、化学処理した用紙などは、紙詰まりなどの故障の原因になりますので、使用しないでください。

また、機器使用中のトラブルによる用紙のロスにつきましては、各自でご負担ください。

ご理解、ご協力をお願いします。

推進コーナーの達人紹介

機関紙「あめんぼ通信」の作成のため、推進コーナーを毎月ご利用されている「あめんぼくらぶ」さん（当センターの登録団体、新聞文芸投稿仲間の交流や毎月の機関紙発行が主な活動）の推進コーナーの活用術をご紹介します。今年の「あめんぼ通信」の新年特大号では、見開きで「あめんぼ通信」製造工程がウィットに富んだ文章で掲載され、その真剣で楽しげな、そして無駄のない作業風景にセンターの職員も感激、すばらしい連係プレイなど、ご利用者には参考になるのではと思いご紹介いたします。（あめんぼ通信平成26年1月号（「あめんぼくらぶ」発行）からの抜粋です。）

【手作り会報「あめんぼ通信」製造工程】

ナレーション：ほへみ庵

① 印刷原版の複製

持参の原稿を印刷機にセットして原版を作ります。印刷機はコピー機とは違いますが、まあコピー機のようなものです。原版はA4の原稿2枚を並べてA3サイズのものを作ります。カラー印刷は出来ないため、カラーページは別仕立てです。

② 印刷

原版が出来ると、必要分の用紙をセットして簡単なパネル操作をすれば、高速でプリントされます。約130部を印刷します。用紙は持ち込み制のため、A3用紙を千枚持ち込みます。これは約10kgあり、1万円札で1億円の重さです。これを収納するキャリーバッグの重さを合わせると約20kgになり、この運搬が唯一の重労働です。

①と②は、電気と科学に強いほへみ庵(ウソ)の担当です。

③ 紙揃え

印刷前及び印刷後の紙を「紙揃え機」で整列させます。電動のパイプ(震動)によるものですが、乱れていた紙の束に軽く手を添えて文字通り手なずけているうちに、みごとにきっちりと四隅が揃うさまは生理的な快感があり、誰もがこの作業をやりたがります。特につと無さんが好みます。他の工程にはしばしば手違いが生じて時間と紙を浪費しますが、この紙揃えの作業だけは失敗は有り得ません。爽快感あるのみ。ご想像下さい。

④ 紙折り

うらおもて両面の印刷がされた用紙(A3)を「紙折り機」を使って2つ折りのA4サイズにします。電動式の高速で折られる便利な機械です。おもに136会長が作業担当します。

ずっと昔は(現代でも環境によっては)この工程は当然手作業で、昭和24年の大映映画「流れる星は生きています」で、主人公(終戦引揚者)の三益愛子が零細の印刷工場で、へうのような物を使って紙折り作業をしている場面だけをなぜかよく憶えています。私は職場で工事図面を折るときは大きな三角定規を使いました。

⑤ 組み込み

2つ折りになった複数の紙の山をページ順に組み込んで仕上げます。これには機械がなく、手作業です。ここにいちばん時間がかかるので複数人数でやります。写真は、ページを確認して組み込みプランを立てている和辛子さん。(この作業は、やる人によって、山の並べ順や向きなど流儀が異なるのが面白いところです)

①から⑤は、重複かつ反復しつつ進行する変則流れ作業です。

⑥ チェック

落丁、乱丁などの点検をします。誤植は発見されても、手遅れです。

作業は東京都三鷹市内の「三鷹市市民協働センター(市営)」内にて行います。あめんぼくらぶは利用者団体登録をしております。最新鋭の機械設備、格安の利用料、親切的な職員方のサポート、束縛感のない気楽な雰囲気この施設は、感謝、敬愛、珍重をつくしきれぬ、当くらぶ運営にとって不可欠のもので、永久存続を祈願します。

休憩タイム。缶コーヒー1本のしあわせ。

製本完了後、某所で小宴をします。役員会・慰労会・反省会・合評会・企画編集会議・雑談、すべてを兼ねた楽しいものです。ただし、次号の互選に関わる話題だけは厳禁ですので、談合による「点」の融通はいいありません。

平成25年中の制作スタッフは、136、和辛子、つと無・ほへみ庵、安ベエでしたが、参加希望の方はご遠慮なくお申し出下さい。印刷は毎月20日前後の平日にします。定員はありません。飲食費は自前です。



4月の某日、いつもどおりご来館。今回もその出来上がりにこの笑顔！

事務局長就任、退任の挨拶



新事務局長
安達 徹

はじめまして。4月1日付けで三鷹市市民協働センター事務局長に就任いたしました安達徹（あだち とおる）です。どうぞ、よろしくお願いいたします。

昨年は、三鷹市では初めての開催となった国体の仕事をさせていただきました。競技団体をはじめ多くの関係者や市民ボランティアの皆様と出会うことができました。新たなる出会いが市民協働センターで始まりました。私の人生の宝物が、また増えていくことを楽しみに思っています。

市民協働センターは、昨年、10周年を迎え、次の10年に向けて新たなるスタートを切りました。当センターがまちづくりの拠点として「つなぐ（協働）」、「ささえる（支援）」、「つむぎだす（参画）」の3つの機能を十分に果たし、暮らしやすいまちの実現に貢献できるよう、事務局職員一丸となって取り組んでまいりますので、市民の皆様、センターご利用の皆様には、今後とも格段のご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



前事務局長
清水利昭

平成23年4月から3年間、三鷹市市民協働センターでお世話になりました清水利昭です。在任中は、本当にたくさんの方々を支えていただきまして、どのように感謝申し上げても感謝しきれないものがございます。この場をお借りしまして、心より厚く御礼申し上げます。

さて、市民協働センターでの3年間は、小中学生から人生の大先輩まで、様々な方々から、新しい発想、思ってもみないご提案などを次々といただき、とても刺激的で楽しい日々でした。また、センター前を通りかかり、立ち寄りおしゃべりをしていられる方々から、「ここはいいわ、いつでも話しを聴いてくれるからあ。」と言われる度に、これまでセンターに関わってきた人たちが、地道に心の通う対応を積み重ねてきた努力に、身内ながら頭の下がる思いがしたのを思い出します。

市役所へ異動いたしました。生活環境部コミュニティ文化課のコミュニティ担当課長として、引き続き市民協働センターとは密接に連携・協働してゆく立場にあります。

今後とも、ますます皆様のお役に立てるよう頑張ってお参りますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

がんばる地域応援プロジェクト

～三鷹市町会等地域自治組織活性化事業～

今年度もまちの元気をつくり出す町会・自治会、管理組合、商店会活動を応援します！

☆助成の対象となる活動

- ①地域の課題解決に取り組むための活動
- ②地域の特性を生かし、地域住民の交流や他団体・市民との連携を促進する活動
- ③その他、地域の活力を生み出す活動

☆助成金額

- ①新規事業…事業経費の3分の2
(上限10万円、経費総額が7万円以下の場合は全額助成)
- ②同一事業…初年度助成額の2分の1（2回まで）

☆応募できる団体

町会・自治会、商店会、管理組合

☆応募方法

6月30日（月）までに所定の様式で下記に持参、郵送または電子メールにて応募ください。
様式の電子データは、三鷹市HPから、ご確認いただけます。

☆助成金の交付決定・選考委員会

7月中旬に、応募団体からのヒアリングにより、公益性・独創性などの観点から選考委員会で公平に審査し、交付決定します。

☆活動報告、助成金受け取り

活動終了後30日以内に所定の様式で報告していただきます。
市から助成金額の確定通知の後、助成金を振り込みます。

☆発表会・交流会、広報及び実例集作成

来年2月（予定）に、皆様の活動の成果を発表していただくとともに、交流の場を設けます。

また、採択事業は市の広報誌やホームページで紹介し、その後実例集を作成します。



4月19日(土)に、説明会を開催

【お問い合わせ、応募先】

三鷹市生活環境部コミュニティ文化課
181-8555三鷹市野崎1-1-1
電話番号0422-45-1151内線2516
メールアドレスkomyunitei@city.mitaka.tokyo.jp



	月日	テーマ・内容	参加費	担当	定員
①	5月1日(木)	ママ護身術エクササイズ(パンチ編) ～だっこしたまま、強いママ～	1,500円 (防犯ホイッスル付き)	オフィス Erico-I	6組
②	5月8日(木)	もっと知りたい!みたかの幼稚園 ～「みたか幼稚園ガイド」製作裏話もきけます～	800円 (みたか幼稚園ガイド付)	NPO法人子育てコンビニ	10組
③	5月10日(土)	ベビーマッサージで親子のふれあい♪ ～赤ちゃん楽しくスキンシップしましょう～	1,800円 (オイル・防水シート代込み)	NPO法人子育てコンビニ	6組
④	5月12日(月)	産前・産後の骨盤ケア ～知って整え、お産も産後も安心～	2,000円 (さらし付き)	はっぴいまむず (助産師・整体師 谷京子)	8組
⑤	5月15日(木)	「ベビーサイン」で楽しい子育て♪ ～赤ちゃんとお手でコミュニケーション～	1,500円 (ご夫婦参加同額)	Mama & Baby	8組
⑥	5月17日(土)	スリングなど抱っこ用品の選び方、使い方 ～赤ちゃんにやさしい抱っこを考えよう～	1,500円 (ご夫婦参加2,000円)	はっぴいまむず	6組
⑦	5月19日(月)	はじめてのベビーヨガ ～赤ちゃんにもママにもいいこといっぱい～	1,500円	花莉屋	10組
⑧	5月22日(木)	みんな一緒に「ベビーマッサージ」 ～赤ちゃんとのふれあいを楽しみましょう♪～	1,500円	Mama & Baby	8組
⑨	5月26日(月)	ヨガママで骨盤調整(ハイハイ前) ～ママのためのヨガで骨盤整えリラックス～	1,500円	花莉屋	8組

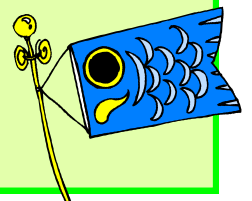
※時間:午前10:30～正午

(先着順)

【対象】 おおむね0～3歳のお子さんを持つ親子
及び妊娠中のお母さん
(講座ごとに異なりますので、ご確認ください。)

【会場・申込み・問合せ】 三鷹市市民協働センター
※お持ち物など詳しい内容のお問い合わせ・
お申込みは当センターへ

☆全回、保育はありません。
☆お車でのご来場はご遠慮ください。
☆キャンセルされる場合は、
必ずご連絡ください。
☆お菓子とお茶をご用意しています。
☆ご夫婦参加の場合は申し込み時に
必ずお申し出ください。



助成金等の情報

三鷹市市民協働センターに持ち込まれた情報およびセンターで収集した情報を、市民活動に関わるものを中心に紹介しています。詳細につきましては、各ホームページ上などで直接ご確認ください。

◆スミセイ コミュニティスポーツ推進助成プログラム

(お問合せ先:公益財団法人住友生命健康財団「スミセイ コミュニティスポーツ推進助成プログラム」係)

<http://www.sumitomolife.co.jp/csr/kouken/kenkou/sport2013.html> TEL:06-6947-3140

〈締切日:2014年5月15日〉

◆平成26年度ニッセイ財団 高齢社会助成 (お問合せ先:日本生命財団 高齢社会助成 事務局)

http://www.nihonseimei-zaidan.or.jp/kourei/02_gaiyo.html TEL:06-6204-4013

〈締切日:2014年5月31日〉

《協働センターからのお知らせ》

8月18日(月)～31日(日)まで第1会議室パーテーションの工事のため2階の会議室のご利用ができなくなります。ご不便をおかけしますが、ご理解ご協力をお願いします。

なお、1階の施設についてはご利用いただけますが、工事の日程によっては、使用不可になることもあります。

■町会・自治会へ ニュースレターを配付させていただきます

協働センターニュースレターは町会・自治会など地域自治組織に無料で配付させていただいております。組織単位でご連絡いただければお届けさせていただきます。町会・自治会の皆様、ぜひご検討ください。

Editor's note.

編集後記:新年度が始まりました。センターも印刷機など機器が新しいものに交換されたり、事務局長の異動があったりと、いろいろ変化の月でした。個人的にはパソコンの交換で四苦八苦しています。年齢とともに、変化に対応する能力が衰え、「昔はよかった」と言う老人の、時代についていけない焦りや苛立ち、諦めの気持ちが理解できる気がしました。今も眉間と額のしわを気にしつつ、パソコンと格闘しながらニュースレターを作成しています。紙面に変化は見られなくとも、裏ではそんな新しい苦労があるというお話です。

◆ニュースレター配布場所◆

るま・ばぐーず、グラナダ(レストラン)、ハローワーク三鷹、NPO法人子ども生活・ゆめこうば、各コミュニティ・センター、各市政窓口、各図書館、その他市の公共施設、近隣市区の市民活動支援センター

発行日:平成26年5月1日

発行:三鷹市市民協働センター

(指定管理者:特定非営利活動法人みたか市民協働ネットワーク)

〒181-0013 東京都三鷹市下連雀4-17-23

TEL 0422-46-0048 FAX 0422-46-0148

メール:kyouudou@collabo-mitaka.jp

ホームページ:<http://www.collabo-mitaka.jp>

開館時間:9:00am-9:30pm 受付時間:9:00am-9:00pm

休館日:火曜日(祝祭日は開館し、直後の平日を休館とします。)